

相互提案協働事業 報告書

平成23年 5月27日

（あて先）鎌倉市長

住所 [REDACTED]  
 郵便番号 [REDACTED]  
 団体名 図書館とともだち・鎌倉  
 代表者氏名 [REDACTED] 印  
 担当責任者 [REDACTED]  
 連絡先電話番号 [REDACTED]

平成22年度事業報告会に先立ち、協働事業の実施状況・実施結果について、下記のとおり報告します。

事業名	図書館とともだちになろう（図書館振興）事業
事業概要	<p>赤ちゃんから高齢者まで広く利用することのできる図書館の楽しさや便利さ、重要な存在意義などをより多くの市民に伝え、各方面での図書館利用が促進されるよう、図書館の振興事業を行った。</p> <p>また、3年間の継続事業であったが本年度が最終年度となるため、次年度以降につながる内容を目指した。</p> <p>対象別講座・講演会、イベント（ファンタスティック☆ライブラリー・2010）などを実施                  （詳細は、別紙資料①を参照）</p>
市担当課	鎌倉市中央図書館
事業実施期間 （継続中の事業については、継続に○をつける）	開始 平成22年4月1日 ～ 終了 平成23年3月31日
協働の形態	<p>月2～3回打ち合わせ会議実施。</p> <p>必要に応じて、各行事担当者打ち合わせを別途実施。</p> <p>すべての催しを図書館職員・市民団体スタッフが協働して企画、運営した。</p> <p>情報を共有し、共通認識を持つ。</p> <p>また、催しごとに協力者のいる場合は、定例の打ち合わせ会議に出席を求めるほか、事前打ち合わせを密に行った。</p>
事業費	800,000 円

鎌倉市役所  
 平成 23.5.27 受付  
 第 178-10 号

<p>事業目的の達成 (継続中の事業については、現時点で判断する)</p>	<p>&lt;達成できた点&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>多くの団体と連携、協力関係を持ったが、事前打ち合わせを充実させることにより事業の趣旨を理解して参加してもらうことができた。</li> <li>定員をはるかに超える申し込みや、受け付け開始後即日定員に達する催しが複数あり、潜在的なニーズを確認することができた。</li> <li>講座・講演会のテーマを自然科学、芸術、制作など多分野としたことで、より幅広く市民に呼び掛けることができた。図書館未利用者にも関心を持ってもらうことができた。</li> <li>事業ごとに図書館で所蔵している関連資料をそろえることで、図書館の存在意義の一端をアピールできた。同時に、手に取りやすい場所に置いたことで資料の利用率もあがった。催し終了後も資料の貸し出しは続いており、利用者が定着している。</li> <li>催しごとに他課、他団体との協力体制が定着してきた。</li> <li>図書館関連団体のパネル展・交流会を行い、団体と図書館、団体同士の連携が密になり、市民が図書館を支える基盤ができた。</li> <li>国宝館・文化財課・図書館3者のシンポジウムを行い、多くの市民にこれらが連携することで広がる可能性や現在の課題を訴えることができた。</li> </ul> <p>&lt;達成できなかった点&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>障がい者サービス(手話通訳など)について予算化していたが、その準備があることを参加者に十分に伝えなかつたため依頼がなく、実際には行わなかつた。</li> <li>託児についても手配していたが、応募がなく行わなかつた。募集方法や時期が的確でなかつたのかもしれない。</li> </ul>
<p>成果・効果</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>広報かまぐらのほか、地域の情報誌、ロコミ広報など、行政関係だけでなく、市民ならではのネットワークを駆使した情報発信ができた。</li> <li>これまでになかつたイベント等を行うことで、新たな図書館利用者を呼び込むことができた。特に、男性ボランティアグループ珈琲野郎の協力で実現したファンタスティック・カフェは従来の図書館利用者にも歓迎された。</li> <li>コンサート、図書館見学、多様なテーマの講演会などは3年間で定着し、繰り返し参加する人も多く、今後の継続、広がりを見込む声が多く聞かれた。</li> <li>初めて現役市長の図書館見学が実現した。市長カフェとの合同企画としたので、参加した市民が市長を囲んで話をすることができ、図書館を会場にすることで、市民にとって市長をより身近に感じる機会となった。</li> <li>図書館職員等市職員と市民団体が事業や予算についても話し合いを重ねたことで、市の事業の透明性を高めることができた。無駄を省き、市民サービスを向させる道筋につながった。</li> <li>催事のほか、文字・活字文化の日記念シンポジウムの報告書刊行、本の海サポーターズ交流会の記録作成を行ったことで、これらの事業を次年度以降の図書館運営とサービス計画に繋ぐ成果を得られた。</li> <li>開館百周年事業記念ポスターを作成し、市内各所に掲示を依頼した。鎌倉市図書館が県内最初に百周年を迎えることを広く市民に知らせ、より親しみをもってもらう助けとなっている。</li> <li>図書館は平成23年度以降もこれらの成果をもとにPR等に努め、他の関連地域団体やボランティア団体とも協力体制を結びながら、市民的視野と機動性を持って図書館振興事業を行う方針を固めることができた。</li> <li>図書館法第三条、鎌倉市図書館の設置及び管理に関する条例第4条にも「読書会、研究会、観賞会、映写会、資料展示会等を主催し、その奨励を行うこと」とあるとおり、図書館が今後も引き続き、図書館の集会機能の充実をはかる意義を確認できた。</li> </ul>

<p>課題・問題点 (解決・改善の方法についても記入)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 限られた時間で多くの市民に働きかけたいという思いから、数多くの催しを実施した。市民に歓迎され、実施した効果はあったが、反省を次に活かすための話し合いの時間が多少不足していた。</li> <li>・ 十分な成果を上げるには、活動人数は不足しており、各事業遂行に必要な人手を的確に算出する必要があった。</li> <li>・ 天候の影響で実施が難しい場合や延期、中止せざるを得ない場合があった。事前にそのような場合を想定した打ち合わせを行っていなかったため、当日判断に迷う事例があった。</li> <li>・ 障がい者サービス、託児サービスはそれぞれ専門スタッフに依頼する予定でいたが、今年度は実施にいたらなかった。ニーズがないのではなく、周知不足だと考える。周知の方法等も、専門スタッフに相談するなど、工夫が必要である。</li> <li>・ 協働事業のあり方についても課題が多くあるが、それについては別記する(添付資料②)。</li> </ul>
<p>今後の展望</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 図書館振興事業には終わりが無い。各事業毎の膨大なアンケート結果からも、市民が図書館の継続的、発展的な振興事業を強く期待していることがわかった。すべての市民のための教育機関として引き続き利用促進に努めなければならない。</li> <li>・ そのためには、ゼロ予算である図書館振興費を経常的に予算化することが不可欠である。</li> <li>・ 3年間の実績により、市と市民が対等に事業を実施できることが確認できた。今後も柔軟な姿勢で市と市民、また市役所内他部署との連携を深め、鎌倉の町にふさわしい図書館として成長していかなければならない。</li> </ul>

添付資料

- ・ 収支決算書
- ・ 平成 22 年度協働事業一覧 (添付資料①)
- ・ 協働事業について (添付資料②)
- ・ 事業結果報告書
- ・ 各事業実施資料
- ・ 各事業配布ちらし、
- ・ 記録写真
- ・ アンケート結果報告書
- ・ 会報関連記事

## 平成 22 年度協働事業収支報告書

2010.4.1.～ 2010.3.31.

## I 収入の部

	予算額	決算額	差異
市からの収入	800,000	800,000	0

## II 支出の部

項目	予算額	決算額	差異
<b>1. 事業費</b>			
①講座・講演会			
講師謝礼金	160,000	125,000	35,000
消耗品費	10,000	20,669	-10,669
②イベント			
講演会講師謝礼・交通費	50,000	65,000	-15,000
コンサート謝礼・交通費	50,000	55,000	-5,000
らいぶらりカフェ謝礼	15,000	0	15,000
映画会・トークショー謝礼	20,000	30,000	-10,000
大道芸・紙芝居謝礼	5,000	0	5,000
おはなし会謝礼	10,000	0	10,000
カフェ謝礼・交通費	0	12,100	-12,100
消耗品費	60,000	90,347	-30,347
③図書館見学会			
消耗品費	5,000	698	4,302
④子ども読書活動推進計画事業支援			
消耗品費	35,000	11,860	23,140
⑤図書館開館 100 周年事業支援			
消耗品費	100,000	150,000	-50,000
⑥障がい者サービス支援・子育て支援			
消耗品費	30,000	0	30,000
⑦その他			
消耗品費	44,920	34,246	10,674
<b>事業費合計</b>	<b>594,920</b>	<b>594,920</b>	<b>0</b>
<b>2. 人件費</b>			
①講座・講演会			
スタッフ人件費	33,210	13,770	19,440
交通費補助	4,500	2,400	2,100
②イベント			
スタッフ人件費	43,740	29,970	13,770
交通費補助	9,000	5,700	3,300
③図書館見学会			
スタッフ人件費	4,050	810	3,240
④子ども読書活動推進計画事業支援			
スタッフ人件費	9,720	11,340	-1,620
交通費補助	600	1,200	-600
⑤図書館開館 100 周年事業支援			
スタッフ人件費	0	0	0
⑥事業運営協議会			
スタッフ人件費	77,760	120,690	-42,930
交通費補助	14,400	19,200	-4,800
⑦研修会			
スタッフ人件費	8,100	0	8,100
<b>人件費合計</b>	<b>205,080</b>	<b>205,080</b>	<b>0</b>
<b>支出合計</b>	<b>800,000</b>	<b>800,000</b>	<b>0</b>